

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃひゅーまんできいん		団体ウェブサイトURL
	株式会社ヒューマンデザイン		http://www.humandesign.co.jp/
代表者職・氏名	代表取締役 相川タロー		
制作団体所在地	〒 102-0085	最寄り駅(バス停)	四ツ谷駅
	東京都千代田区六番町12番地6		
電話番号	03-3222-1177		
ふりがな 公演団体名	おんがくざみゅーじかる		団体ウェブサイトURL
	音楽座ミュージカル		https://www.ongakuza-musical.com/
代表者職・氏名	代表 相川タロー		
公演団体所在地	〒 194-0013	最寄り駅(バス停)	町田駅
	東京都町田市原町田4-24-29		
制作団体 設立年月	1987年8月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表:相川タロー チーフプロデューサー:石川聖子・藤田将範 制作:山本響子・林芳弥・富永波奈	団体構成員:代表1名 チーフプロデューサー2名 プロデューサー4名 カンパニーメンバー28名 プレカンパニーメンバー3名 /加入条件:1.オーディションによって選別された者 2.特別推薦によりプロデューサー会議で認められた者	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者置く	本事業担当者名	林 芳弥
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	常山 千賀子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@humandesign.co.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1987年8月 株式会社ヒューマンデザインを設立し“音楽座ミュージカル”の活動を開始。 1988年 音楽座ミュージカル「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」を旗揚げ公演として上演以降毎年新作を発表し、文化庁芸術祭賞をはじめ数々の演劇賞を受賞。 2009年 人財研修プログラム「シアターラーニング」を教育機関向けに開発・提供スタート。 2011年 「シアターラーニング」を企業向けに提供開始。 2017年 世界初のVRミュージカルとして「リトルプリンスVR supported by VIVE」を公開。 2018年 beyond2020プログラムとしてVR、IoTとミュージカルのコラボレーションによる「LITTLE PRINCE ALPHA」を開催。 2020年 東宝製作による音楽座ミュージカル作品のライセンス上演が開始。現在15作品のオリジナルミュージカルを持ち、創造活動を続けている。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>創立当初から数多く実績あり、以下直近5年間の実績 2019年度「グッバイマイダーリン★」全国で4ステージ上演、「7dolls」大阪府で1ステージ上演 2020年度「SUNDAY(サンデイ)」東京都・大阪府・愛知県で5ステージ上演、「リトルプリンス」東京都・千葉県で5ステージ上演(次のにない手を育成する子ども向けコンテンツ制作事業) 2021年度「JUST CLIMAX(ジャストクライマックス)」東京都、愛知県で2ステージ上演、文化庁 子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業において、「JUST CLIMAX(ジャストクライマックス)」公演を東京都・宮城県・和歌山県・広島県・京都府・群馬県18校で計26ステージ上演(主に体育館での実施、うち5ステージ生配信による上演、1ステージ中止) 2022年度「ラブ・レター」兵庫県・広島県・愛知県・静岡県で5ステージ上演、文化庁 子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業において、「JUST CLIMAX(ジャストクライマックス)」公演を東京都・埼玉県・京都府・兵庫県・長崎県10校の体育館で計13ステージ上演 2023年度「泣かないで」大阪府・愛知県・広島県・静岡県で6ステージ上演、「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」東京都・神奈川県・大阪府・広島県で5ステージ上演、令和5年度文化芸術による子供育成推進事業-巡回公演事業-にて「リトルプリンス」が採択され、2024年1月に京都府・大阪府・奈良県・和歌山県で13ステージ上演確定</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2008年3月国際障害者交流センター「マドモアゼル・モーツァルト」バリアフリーアートアカデミーの一環として/2012年1月町田市民ホール「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」障がい者招待特別貸切公演(主催:ヒューマンデザイン・(財)町田市文化・国際交流財団、共催:町田市)、6月兵庫県立芸術文化センター「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」障がい者招待特別貸切公演(主催:ヒューマンデザイン、協賛:株式会社ヒカリ引越センター、協力:公益財団法人西宮市文化振興財団)、2013年11月町田市民ホール・新宿区文化センター「ラブ・レター」チャリティ公演、2014年5月町田市民ホール「泣かないで」チャリティ公演、2015年3月「七つの人形の恋物語II」聴覚・視覚障がい者招待公演、2016年「リトルプリンス」巡回公演事業(足利特別支援学校、熊谷特別支援学校) 2023年「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」が「2025大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト 文化芸術における合理的配慮提供マッチング事業」に採択され、10月大阪・東京公演において鑑賞サポート(・バリアフリー日本語字幕/英語字幕「UDCast LIVE(ユードイキャストライブ)」タブレットの貸し出しに対応・台本貸し出し・事前の舞台説明テキストを提供・駅からの移動サポートあり・介助者無料)の実施が確定</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 音楽座ミュージカル 】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	音楽座ミュージカル「リトルプリンス」		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>音楽座ミュージカル「リトルプリンス」 原作:アントワヌ・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子さま』 オリジナル総指揮/相川レイ子 脚本・演出/ワームホール・プロジェクト 音楽/高田 浩・金子浩介・山口瑠也 振付/上島雪夫</p> <p>【プログラム構成】 1.導入ワークショップ 2.音楽座ミュージカル「リトルプリンス」 3.質問コーナー(希望があれば)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>■音楽座ミュージカル「リトルプリンス」は、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』を原作に1993年に初演した作品です。1995年に世界で初めての独占ミュージカル化権を取得したオリジナルミュージカルで、その後、演出や脚本を変更しながら上演を重ねてきました。体育館での上演実績も多い上、2022年1月には東宝株式会社による上演(脚本・音楽のライセンス貸与)が行われるなど、初演から30年近く経った今も広く好評をいただいている作品です。</p> <p>【あらすじ】ある霧の深い夜、夜間飛行中の飛行機が砂漠の真真中に墜落する。乗っていた飛行士はその砂漠で、星から来たという不思議な少年(星の王子さま)と出会った。羊の絵を描いてほしいとしつこく迫る王子に辟易する飛行士だったが、スケッチブックに描いた「象を呑み込んだウワバミ」の絵を言い当てられたことをきっかけに、次第に心を開いていく。王子は飛行士に、自分が住んでいた小さな星、そこを出るきっかけとなった花のこと、そして地球に来てからの様々な出会いを語る。それらの体験を自分の人生に重ね、深く受け止めていく飛行士。やがて、飛行機の修理が終わったとき、王子は...</p> <p>【受賞歴】平成五年度文化庁芸術祭賞、第三回読売演劇大賞優秀女優賞、第三回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、第六回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、第26回照明家協会優秀賞、東京芸術劇場ミュージカル月間優秀賞</p>		
演目選択理由	<p>近年、AIやさまざまなテクノロジーが発達し、多くの物事がシステム化・効率化され、“便利”な時代となりました。これにより莫大な「情報」が日々扱われるようになり、情報資産の管理や個人情報保護などセキュリティもより強固なものとなり、ある意味での“安心・安全”も整備されてきました。特にここ2、3年はコロナも相まって、こうした動きが急加速しました。</p> <p>しかしながら、便利さや確固たる安全を求めすぎたがゆえに、少しばかり窮屈な時代になってしまったと感じています。子ども達は当たり前で1人で遊べる時代となり、年々増えていくさまざまなルールや制限、さらには感染症といった抗いようのない状況の中で、どんどんとコミュニケーションが希薄化し、物理的にも精神的にも余地のない世の中になってきています。では昔が良くて今が悪いかというところでもない。大事なことは、こうした移りゆく時代やさまざまな状況の中で“いかに生きていくか”ということだと思います。</p> <p>本作は、劇中のキツネのセリフにも登場しますが「肝心なものは目には見えない、心で見なくちゃ物事はよくわからない」というテーマを軸にした作品です。余地のない今だからこそ子ども達へ届けたいテーマであり、きっと活力になる何かを感じてもらえると確信しています。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>事前に指名して稽古をすることで緊張など作品が存分に楽しめない児童・生徒が出るのを避けるため、作品の中でランダムに児童・生徒を選び、王子とキツネが出会うシーンに生えている草の役を演じていただきます。演じることの楽しさ、舞台の上で役になりきることの面白さを感じていただく設定です。</p> <p>また、最後に会場全体で一体となって歌い踊るシーンを設定し、会場の児童・生徒全員が、歌や踊りの楽しさを体験できる内容にします。</p>		
出演者	<p>【キャスト】王子:森彩香 飛行士:安中淳也 花:岡崎かのん キツネほか:1名 ヘビほか:1名 星の住人ほか:1名 渡り鳥ほか:2名 計8名</p> <p>※音楽座ミュージカルに所属のメンバーより出演(公演時にさらに適したメンバーがいれば変更の可能性あり)</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 8 名 スタッフ: 8 名 合計: 16 名	運搬	積載量: 4 t 車長: 8.5 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間			時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時	13時～14時20分	なし	14時20分～16時	16時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	0日	0日	0日	0日	0日	
	11月	12月	1月	計	24日	
	0日	5日	19日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	5人程度(最後に全体で歌います)
		鑑賞人数目安	50人～500人程度

(図1) 体育館使用のイメージ(※体育館の常設ステージにて上演いたします。各学校のステージの広さにあわせて装置の設置が可能です。)



(図2) 舞台の設置イメージ。



(図3) 音楽座ミュージカル「リトルプリンス」上演の様子



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	50人～500人程度(鑑賞者全員)
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>80分(途中休憩あり)</p> <p>①イントロダクション「ミュージカルって難しい？」(15分)</p> <p>ミュージカルを見たことがある人もない人もミュージカルを身近に感じられるよう、アイスブレイクや音楽座ミュージカルの歌やシーンをを用いながら体感型で解説していきます。</p> <p>②体感・リトルプリンスI(25分)</p> <p>1.実際に鑑賞する音楽座ミュージカル「リトルプリンス」の作品の世界を体験。作品に登場する飛行士や王子、花の役を児童・生徒からランダムに選んで、冒頭のシーンを感ずるままに演じてもらいます。ともにシーンを作り上げていく楽しさを体感するプログラムです。</p> <p>2.今見たシーンのこと、そして出会いについてディスカッションを行います。</p> <p><休憩></p> <p>③体感・リトルプリンスII(20分)</p> <p>1.鑑賞当日に全員で歌う「アストラルジャーニー」の曲について、シーンの背景などを解説します。 2.歌と簡単な振付を指導 3.全員で実際に踊り歌います。</p> <p>④「アストラル・ジャーニー」を実演(20分)</p> <p>俳優が実際に「アストラル・ジャーニー」のシーンを実演します。</p>		
<p style="text-align: center;">ワークショップの ねらい</p>	<p>児童・生徒の中には「ミュージカル」に触れたことがない人も多くいると思います。得体の知れないものに好奇心が湧く子もいれば、なんとなく嫌気がさす子も当然いると思います。</p> <p>このワークショップでは、まずアイスブレイクやシーン体験など、楽しみやすい・親しみやすいワークを通して、ミュージカルや演劇に対する壁をとっばらうことがねらいです。</p> <p>最後には本公演の一部を実際に俳優が演じることにより、多くの児童・生徒に本公演への興味・期待を持ってもらえるようにできればと考えています。</p> <p>また、体験活動の間にディスカッションの時間を挟み、自分が感じたことをそのままシェアしたり、また周りの人が感じていることを聞くことで、「ただ演じてみた」「ただ、演じた人を見ていた」ではなく、一人ひとりが主体的に参加し、より学びにしやすい場づくりを行なっていきます。</p>		
<p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>音楽座ミュージカルでは、小学校から大学・専門学校など教育機関、各種企業の皆様向けに毎年多くの表現力ワークショップ、研修などを開催しています。その経験をいかし、先生方と密にやり取りしながら、当日の児童・生徒の様子も見て柔軟に対応していきます。プログラムについても、学年などに応じて変更が可能です。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 音楽座ミュージカル 】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>未来を担う子ども達に作品を届けることは、非常に重要な機会であると考えています。ミュージカルは、その性質上どうしても創作・上演に多額の金額がかかってしまい観劇料金も高くせざるを得ないことや、また住んでいる地域によっては近くで上演自体がある機会も少なく、まったくふれる機会がない子どもも多くいると思います。</p> <p>本事業を通して、ミュージカルに触れる機会を作れることは、将来の観客を作ること・文化芸術の担い手を作ることの両側面において重要です。</p> <p>今は、インターネット上のコンテンツが充実しており、ミュージカルを映像で観たことがある子ども達も少なからずいるかもしれませんが、ただ、舞台芸術はやはり“なまもの”、肌で感じる空気感などライブだからこそ得られる感覚を味わう良い機会にできればと思います。</p> <p>また、裏を返せば、本事業で子ども達が抱く印象が非常に重要です。そういった意味では、劇場で実施する主催公演と何ら変わらない作品稽古を行い、最善の演出・最善のキャストで公演へ臨みます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>音楽座ミュージカルではこれまで多数の小・中学校・特別支援学校での公演を行ってきました。この経験をいかし、舞台監督を中心にチェックリストや確認表を活用して先生方と密に連絡をとりながら事業を進めます。また、当日配布のプログラムにQRコードを掲載し、メッセージ動画を見られるようにするなど、開催後にもつながりを持てる工夫を考えています。</p>
--	---